



まちづくり NEWS ニュース 阿見吉原の里

保存版

# 風土記

特大号4



“まちミュ〜”人気コーナー「阿見吉原の里 風土記」を特別編集!

地域の方達との協働作業により進めできた【平成の大開発】と呼ばれた当事業…

でもその素地は“吉原〇千年の歴史や文化、風俗にある!”

素晴らしい【温故知新】を活かした“まちづくり”…今様で言えば【ハイブリッド】な“まちづくり”!

ここにAmi☆Yoshi“まちづくり”Rootsの書…【阿見吉原の里 風土記】堂々完結!

平成の大開発!

阿見吉原土地区画整理事業

堂々竣工!



都市計画決定時  
平成11年5月30日撮影



令和2年10月29日撮影



H19.3.10  
圏央道阿見東!C供用開始!



H21.7.9  
あみプレミアム・アウトレット  
オープン!



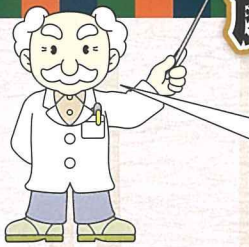
H30.7.20  
巨大な公園ネットワーク  
【いぶきの村】完成!



H26.12  
県道竜ヶ崎阿見線  
バイパス全通!

※本誌は“まちミュ〜VOL.32~46”に掲載された「阿見吉原の里 風土記」の頁を再編集したものです。

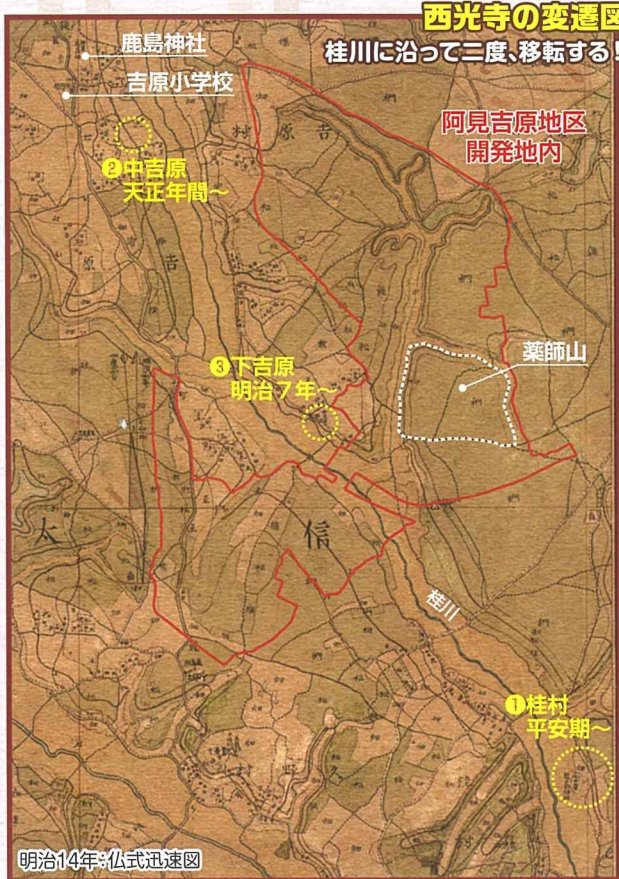
# A・Yラストミステリ～『吉原山西光寺』を考える!? 歴史の謎を地域の方達と推理し未来に活かす～



地域の皆さんと共に阿見吉原について調べ、考え【まちづくりに活かしていく!】  
阿見吉原の里風土記もいよいよ最終回!  
有終の美を飾るは…吉原を冠する唯一の施設“吉原山西光寺”を考える!  
西光寺に着目すれば吉原の**現在・過去・未来**が見えてくる!



県指定文化財 薬師如来坐像 (西光寺蔵)



## 西光寺の変遷図

桂川に沿って二度、移転する!

阿見吉原地区  
開発地内

鹿島神社

吉原小学校

②中吉原  
天正年間～

③下吉原  
明治7年～

①桂村  
平安期～

明治14年:弘武迅速図

## 1. 再考

西光寺は平安期の武将:鎌倉権五郎影政を開基とし現“牛久市桂町”で創建したと伝わる。

Rootsの地は不詳なれど【地勢】【地形】【地名】【伝承】等を元に**再考!**

【字御霊】と呼ばれる“伝神社、墓所”辺りが有力な**推定地!**

お寺は戦国期、兵火にあい焼失したと云われる。土岐氏×小田氏との戦か!?

## 2. 再興

天正期(1500年代後半)、中吉原に移転～**再興**したと伝わる西光寺!  
中吉原に【吉田姓】が多いのも寺と共に移住した桂組の名残だと…なるほど!

曹洞宗となり【吉原山】を称すのもこの時期からの様だ。

明治7年(1874年)大火により焼失!**下吉原玉泉寺跡(現在地)に再移転!**

此の地にて再々興す。大火を物語る仏像類が今も残る。

境内には、かつて**薬師山(現アウトレット辺り)に存したと云う御堂**があった。今も薬師如来坐像(平安期作:県指定文化財)を蔵す。

また中吉原医王寺本尊:薬師如来坐像も後に移転安置された。(※Arc.21参照)二体の薬師様を蔵す西光寺は【**病氣治療のお寺**】と呼ばれる様になった(^)



▲西光寺Rootsの地はこの辺りか!?  
現在の“権五郎神社、墓所”



▲鎌倉“御霊神社”権五郎を祀る!



小字に残る“御霊”!  
権五郎に縁ある地名群



▼事業地内包蔵地発掘法要



▼R2.9.6  
“まちづくり”×“地域資産”講演会



## 3. 最高

西光寺のお膝元で開発が始まり十数年!工事に伴う“お清め”や“法要”、事業の順調なる進捗祈願等…共に“まちづくり”を進めてきた西光寺!動と静…**最高のパートナー!**

古館址とも伝わる現西光寺!今では**眼下にアウトレット、そして牛久大仏を望む**。隣接【見晴臺】は吉原最高地!眺めも**最高だ**(^^)  
此の地から公園ネットワーク【いぶきの杜】が始まる!

## 4. さあ行こう

令和2年度、事業が竣功!新時代を迎える“阿見吉原”  
“ウィズコロナ”とも呼ばれる新時代…そんな不安定な時だからこそ今大事な事!これからの事を皆で話し合う。**お寺で話し合う!**

地域で共に“生き”“助け合い”そして“元気になる”を考える。**お寺と共に考える!**  
それが“温故知新”“ハイブリット”な **よしわら**…次なる【まちづくり】～【まち育て】に繋がる。

**さあ行こう!新しき“よしわら” おいでよ“西光寺”!**



阿見吉原の里  
**風土記**  
29  
Archive

**Salon de Saikou**

西光寺は【いぶきの杜】と【既存集落】とを繋ぐ大切な場所!

H23 本堂での座談会!

R2.8.26 ママさん達との“まちづくり”座談会IN西光寺!

コロナ禍退散!  
ヤクシャ〜御守

やまなかつぽ  
**吉原山中坪**

謎解きの面白さ! そして**秘仏**公開!

阿見吉原の里

# 阿弥陀如来三体様と共に

# 風土記23

Archive

## まちづくり～まち育て



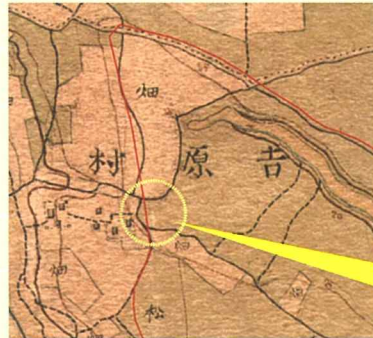
阿見町中央公民館で公開!!

“謎解きの宴”はじまり～!



阿弥陀講のぼり

何と4.5m長い!文化五年三月朔日(一八〇九年)



明治14年6月(1881年) 仏式迅速図による“山中坪”周辺



約2000㎡もあった!!

古地図で確認、山中1300番宅地かつての阿弥陀堂(寺)跡はここだ!



明治十二年地引簿



山中坪の“歴史謎解き”“まち育て”座談会! みなさん真剣な表情!

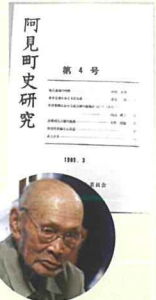


“山中”は…やはり、寺域:山中か?!



寺の名は…“東福寺”!!

坪のみなさん! 初めて見る古文書に興味津々



町史編纂時から“阿弥陀堂”の謎を追う大竹先生!



阿見町史研究4号 (阿弥陀堂と五人塚伝説) 昭和53年3月 大竹房雄著



阿見最古の“アミダ様”!?

なんと! 貴族の仏様説が浮上!?! さすが信太荘!

事業整備が進む“上吉原山中坪”周辺。この地域は“阿弥陀堂”伝説の地である。平成30年度末共同墓地周辺の宅地整備と併せ“街区公園”が開園する。またメインとなる街路も平成31年度にかけ整備されてゆく。“大きく変わりゆく地域”と時を同じくし…この地域の宝! 平安期作と伝わる『阿弥陀如来三体様』の修復プロジェクトも徐々に準備が進みつつある。“新”時代の幕開け! 新たな“いぶき”が吹き込まれ、生まれ変わりゆく“地域”そして“シンボル”。“まちづくり”～“まち育て”への転換! 吉原屈指の古郷《山中》の謎解き、そして“秘仏公開”等を通じ“地域の良いところ”を皆で話し合い、新しきまちに“反映”させていきましょう! そして多くの町民の方達に知ってもらいましょう!



明治十一年地引簿に記される阿弥陀堂(寺)跡の土地



新編常陸国誌に記される“吉原村東福寺”

「東福寺」蹟 泉 宗 門 徒、田 謎解明!“東福寺”これが山中のお寺だった!

山中坪のシンボル『阿弥陀如来三体様』…1000年の時を経て、この度、祝“御開帳”

お阿弥陀様と共に“まちづくり”～“まち育て”を進めたい! (雨井忠義さん)



山中座談会、修復プロジェクト茨城新聞に掲載(2018/6/29)



吉原に縁ある仏像修復士 飯泉太子宗先生にも協力いただく!



阿見吉原郷土史を読み解く先生達!



# 『江戸崎土岐氏』が愛した【阿見吉原】



〈山中地区〉

残念！開墾等により殆どが消滅！

神田土塁跡



〈新山地区〉

小野・清明川水系の分水嶺！そこを堀切！

吉原二重堀跡



伝説の篠崎館(堀之内)を検証

神田土塁

吉原二重堀

篠崎館推定地

水堀

ひんでんぞうい 神田土塁で(要塞化)！  
ぶたえぼり 二重堀で(江戸崎防衛)！

米軍撮影の空中写真(昭和22年10月)

【今の吉原】と【戦国期の吉原】とは驚く程、酷似している！

【吉原】を阿見町の一部と捉えたと【南・東】のハズレとなるが、旧稲敷地域(霞ヶ浦南部・旧信太、河内郡)という大きなエリアで括ると【吉原は中心】だ！戦国期この地域を治めていた土岐(原)氏の勢力範囲がそのまま当てはまる。江戸崎・木原・龍ヶ崎を結ぶ巨大な城域！“谷津堀切土塁”で街道を閉塞！城域全体を要塞化！“敵”は西からやってくる…

その最前線！防衛陣の要が…“吉原”だ！今の言葉で言えば…まさにエリアマネジメント！

私達“阿見吉原のまちづくり”コンセプトも事業地だけでなく“幹線道路網の結節点”を活かした【稲敷地域：商工業の核づくり】である。

江戸期【幕府・大名：分割統治】、明治以降の【市町村別：地方自治】により吉原の“地理的ポテンシャル”は活かされなかった。

また地形も然り！戦国防衛陣として名を馳せた【川】【谷津】等の“御堀”も広域的開発を制限するモノであった。

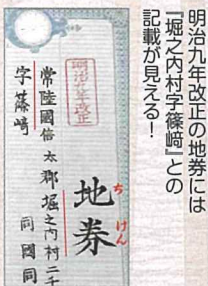
【平成の大開発】…大いなる“地域の核づくり”【吉原】に白羽の矢が立つ！交通の要衝【吉原】の重要性は500年の時空を超え地域に知れ渡る。“まちづくり”が進む。土岐エリアマネの再来か！

こんな切り口も面白い！

講演会で地域の方達と【歴史】や【まちづくり】を話し合う！

詳細については…残念、また別の機会に！

土岐氏も愛した【阿見吉原】！これからも話題沸騰だ(^^)



明治九年改正の地券には一堀之内村字篠崎との記載が見える！



土岐伝説が残る吉原：鹿島神社

“武運長久”ここが最前線基地！



本誌上でも“異質な存在”！

稲敷地域の街道閉塞堀切土塁群を紹介！



吉原の戦国遺構も【候補】に上がるか!?

県内の中世城郭遺構の調査が始まった！平成31年1月16日 茨城新聞



10/6日【まちづくり】×【歴史】講演会！



約60名の方が来場！大盛り上がり！

吉原二重堀が私の“お城”研究の原点！

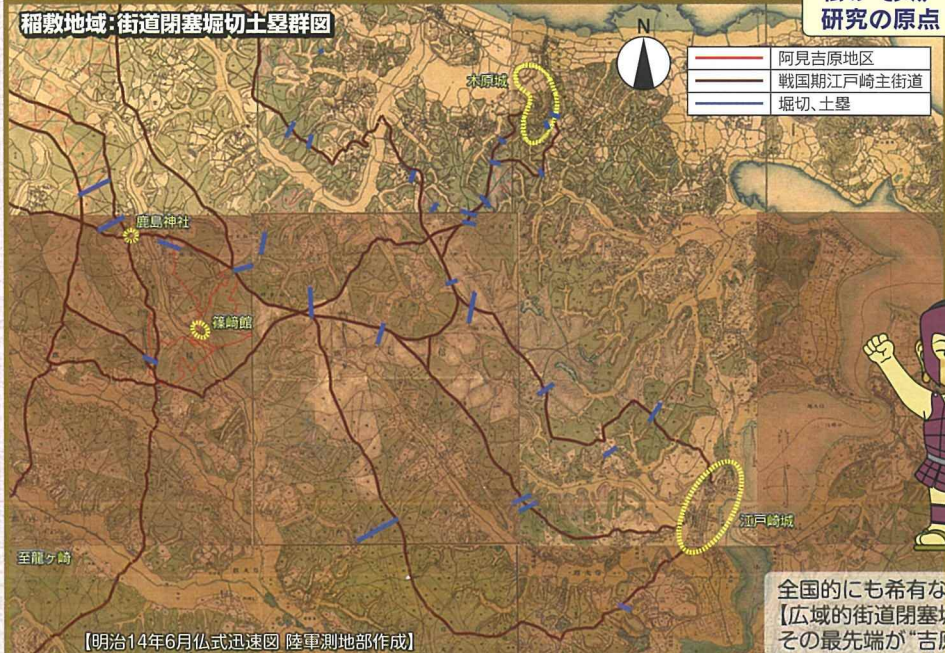


吉原戦国遺構を熱く語る茨城城郭研究会 西山先生



敵は【小田氏】か【佐竹氏】か!?

古地図を元に戦国時代の“エリアマネ”を検証！

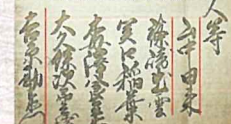


阿見吉原地区  
戦国期江戸崎主街道  
堀切、土塁



全国的にも希有な【広域的街道閉塞堀切土塁群】その最先端が“吉原”！

江戸崎新山六人衆 山中由来、篠崎出雲 吉原勘右衛門等



【土岐氏旧人数注文】飯倉石引家蔵

阿見吉原の里 風土記 27 Archive

【明治14年6月仏式迅速図 陸軍測地部作成】

# 明宝院のこれからは…

平成30年9月30日、台風24号の強風により向坪「明宝院」の屋根が損壊！(\*\_\*) 幸いにも怪我人は出なかった(ホッ)。損壊状況はひどく、実質修繕は困難の様である(T\_T)。

これを機に新しき「明宝院」を考えていく事になる。

かつては“30町規模の大寺院だった！”との伝承が残る明宝院。その信仰範囲は「吉原」だけに留まらず、隣村：桂、久野(現牛久市)にまで広がる。しかし、その実態は意外にも知られていない。

棟札等から、現在の「御堂建立、修繕の記録」が読みとれる。

嘉永七年(1854)の建立以降、明治38年(1905)日露戦勝、昭和15年(1940)皇紀二千六百年、昭和43年(1968)明治百年…と世の中の節目・記念に併せ、地域の方々により修繕、補強がなされてきた。

“お不動講”も盛んに行われていた様である。往事を偲ぶ様々な道具も、たくさん確認できた。

11月7日、明宝院管理者：山木さん、地域住民の方々、阿見町・茨城県の郷土史研究者、事業関係者等が一堂に集う。

これからの「明宝院」についての話し合いが持たれた。

改修計画以外にも話題は多岐に及んだ。事業上の「明宝院」等の取り扱いや江戸期の墓地調査、歴史上から忽然と消えた「牛頭座村」、謎の「六十塚」との関係、そして棟札、修繕銘板からみる“地域の先人列伝”等！俄然、会話に“熱”が入る。

住民が進める「まちづくり」～「まち育て」！奇しくも“明宝院改修”により地域が一つにまとまっていくようである。

平成ラストイヤー！新しき時代の「明宝院」は、どの様な形に“リノベーション”していくのであろうか？

未来に向けた話し合いは今後も進められていきます！

阿見吉原の里

# 風土記 24

Archive



明治初期！  
地域の様子が明らか！



台風一過「明宝院」  
(10/1撮影)

御堂の屋根が  
ぶっ飛んだ！



毎月28日は“お不動様”の日！



祀られる“不動明王”  
以前の立像は盗難に(v\_v)

在りし目の明宝院



明宝院脇墓石群(江戸初～中期建立)※開発前

「不動尊下吉原村明宝院」と記される「銅鐘(鑄口)」

「御堂建立を表す「上棟木札)」

棟梁 建主 山木嘉勝 金杖

裏  
時代は“ペリノ来航”の頃！(？)

五月吉日  
嘉永七甲寅年



今年(2018)は明治百五十年です！



昭和43年(明治百年記念)修繕の棟札！



大変珍しい！  
古い時代！  
高僧のお墓！

墓石の調査報告  
茨城県教育財団：川井先生



地域のご先祖様が勢揃い！

かつての修繕銘板！

消えた牛頭座村！  
謎の六十塚！

吉原はミステリ～の宝庫！

明治11年 吉原村地引簿  
今回も大活躍！(佐藤匡男氏蔵)



議論は伝説の「牛頭座村」「六十塚」へ！  
そして「明宝院」との関係に迫る！

つづく。

# 阿見吉原の里 風土記

# 吉原道祖神物語 其の貳

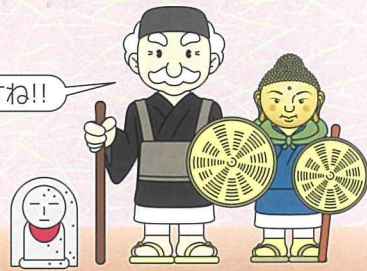
吉原が古くから交通の要衝であることは兼ねてからお伝えしています。それを証立てるのが地域に多数現存する『道祖神様』です。道陸神様とも呼ばれ、村の境界や道の辻々に道標として建てられてきました。

『道路案内標識』の前身…我々建設業界の大先輩であります(^\_^)『道祖神様』はそれだけでなく村の守り神・子孫繁栄など様々な信仰対象にもなっています。(そういう意味では今でも現役ですね!!)

平成28~31年度にかけ地区内の『道祖神様』等が工事のため多数移転されます。

“神ってる”吉原のまちづくり(^\_^)。この機会に地域の石塔類に目を向けてみてください!

まちづくりのヒントが見付かるかもしれませんよ! (^o^)



① 花房坪(中吉原)刻  
二股大根がお供え! 子孫繁栄(^\_^)



③ 小山坪  
お酒がお供え…  
ほんのり穏やかに  
農作業を見守る

赤太郎・小山坪  
馬頭観音であるが  
“道標の役割”  
“吉原龍ヶ崎道”  
等と刻  
平成28年度移転



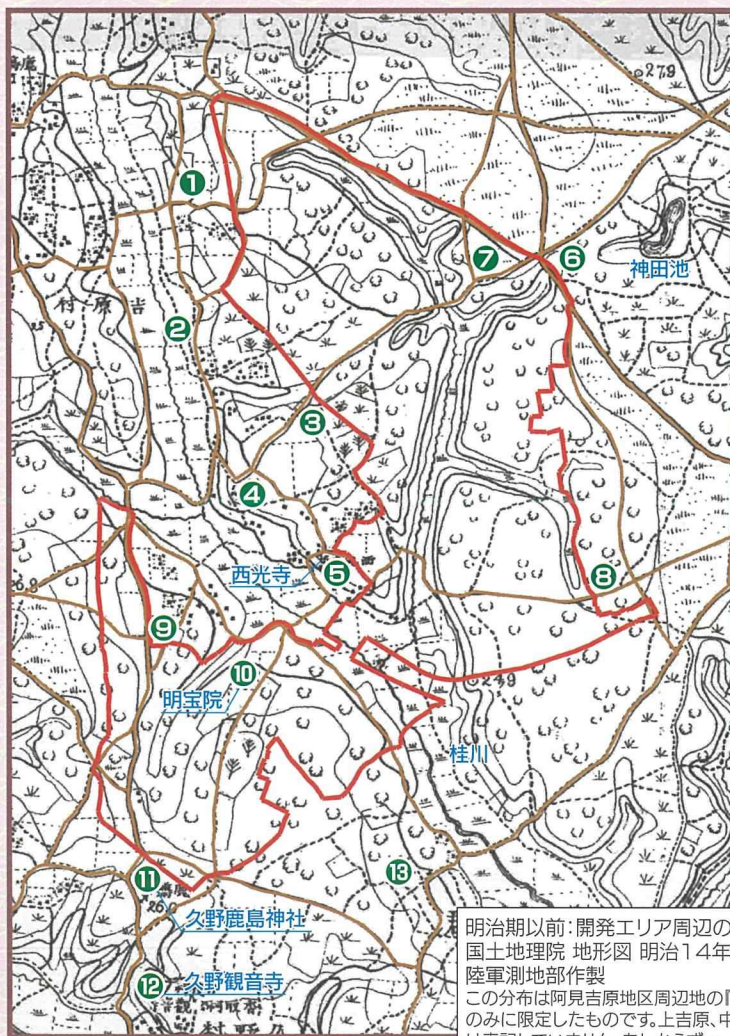
吉原龍ヶ崎道



⑥ 雨坪女入中建!?  
御存知「旧新山」交差点  
『成田』等の刻がみえる  
(Arc3、12、14参照) 平成20年度移転



② 赤太郎坪 『文政』刻がみえる  
古い神様!



⑤ 篠崎坪 西光寺通り  
二股茄子がお供え! 子孫繁栄(^\_^)



④ 小山坪 今は人通りも少なく…  
でも坪の方達は忘れずお祀りして  
います!



⑧ 篠崎・水深坪 アウトレットの  
向かいにもひっそりと神様仏様



⑨ 向坪 女化・牛久等の刻がみえる  
平成28年度移転 (Arc11、12参照)



⑩ 向坪 明宝院 明和元申天と刻  
明宝院は牛頭座村の名残か!?  
令和元年度移転



⑪ 久野鹿島神社の道祖神群。  
近隣の石塔類をまとめた様です。  
ここは福田から飯倉に抜ける順見道ルート



⑫ 久野観音寺  
『吉原』『成田』等の刻がみえる (Arc6、14参照)



⑬ 桂川上坪  
この旧道がやはり順見道か?!

明治期以前: 開発エリア周辺の幹線村道  
国土地理院 地形図 明治14年6月  
陸軍測地部作製  
この分布は阿見吉原地区周辺地の『道祖神様』  
のみに限定したものです。上吉原、中吉原地区  
は表記していません。あしからず…

# 新説！“伊達政宗”阿見吉原へ来たる！を 新しき“まちづくり”に活かす！

新説！“伊達政宗”阿見吉原へ来たる！  
「阿見検分」を推理



こんなにも面白き【地域資産】を【まちづくり】に活かさない手はない！

十数年来、進めてきた“風土記鉄板のネタ”戦国のビッグネーム【政宗公：阿見吉原へ来たる】…【齢六十】【大あくび】【お菓子ぺろり】…阿見の政宗公は“勇ましい”より“優しい”…“戦”よりも“平和”のイメージだ！（^^）

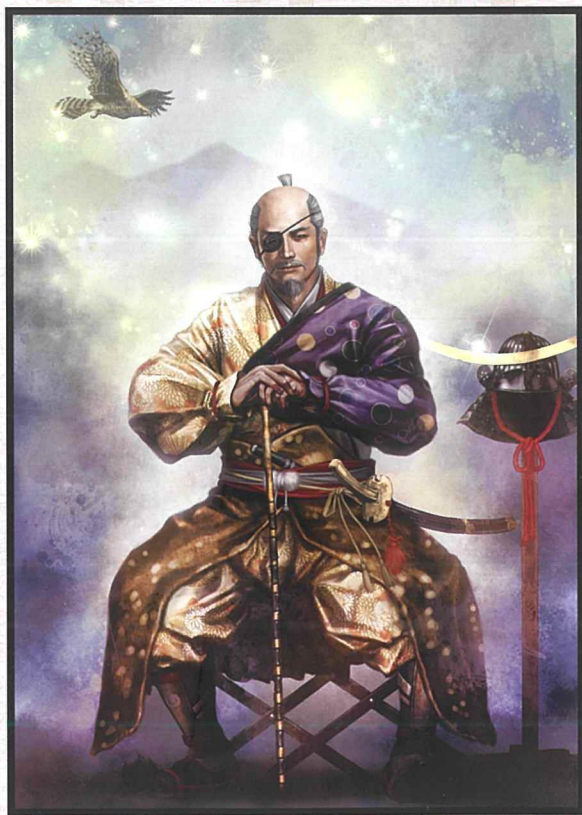
地域の方達からの協力をいただき【伊達政宗】を【阿見のまちづくり】に活かす！

【まちづくり】には様々な顔がある。都市的インフラ整備だけが【まちづくり】ではない！

地域の方それぞれが、その得意分野を駆使し、地域にとって面白き事を行う！これがA・Yで進めてきた

…近年、都市計画業界では、こういった計画的試みを【コミュニティデザイン】とも呼ぶ！

## 今回製作！これが“阿見”の政宗公だ！



圏央道4車線化開通に併せ現在、**県道竜ヶ崎阿見線BP(牛久・龍ヶ崎間)の整備事業が進められている。**A・Y地区への交通利便性は益々向上する！

開通目標は**2024年度(2025年3月末)**…

政宗公が常陸領検分のため龍ヶ崎～阿見を訪れた**寛永2年(1625年)**からちょうど**400年**にあたる年！

面白き偶然！いやっ必然！地域資産を活用す！  
これを機に【まちづくり】を考えていく…何と楽しいことか！



## 令和の民よ！不楽是如何

約70名の町民の方達が参加！



2/22【まちづくり】×【地域資産】！  
これからの“阿見のまちづくり”を考える！

【阿見の政宗】パネル！初公開！



是非活かすに  
まちづくりの  
アミ大使！  
イラストレーター 諏訪原寛幸さん  
(阿見町島津在住)



【政宗公：鷹狩り書状】を解説する  
蔵福寺：金子住職◎



中世の【追原】【塙】を語る  
「茨城城郭研究会」西山氏

## 政宗公のユニークさが文面から溢れ出す！

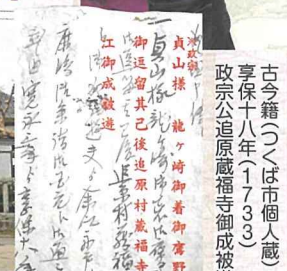


飛騨高山藩主：金森出雲守宛 政宗公鷹狩書状  
寛永二年八月二八日(1625)

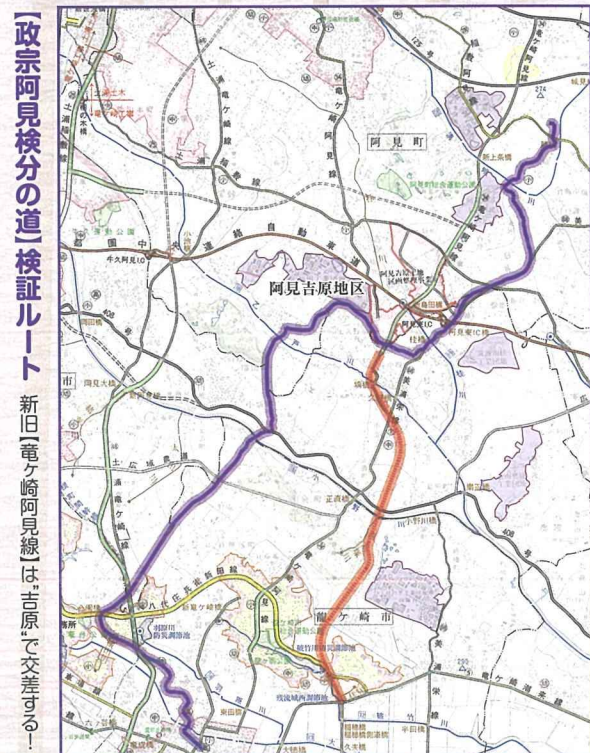


【政宗阿見検分の道】  
新旧図面にて比較検証！  
大盛り上がり！

## 政宗公が宿泊したとの伝承は如何に!? 追原：蔵福寺！



阿見吉原の里  
**風土記 28**  
Archive



【政宗阿見検分の道】検証ルート 新旧「竜ヶ崎阿見線」は「吉原」で交差する！

# 近代吉原の“地籍・地図歴”を探る!

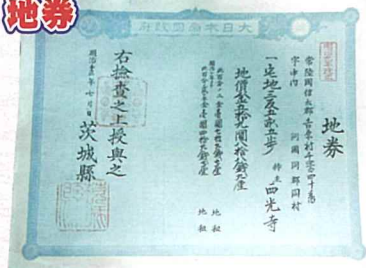
令和2年度! 阿見吉原土地区画整理事業は西南工区:106町歩<sup>ちようぶ</sup>の【換地処分】を迎える!  
町丁名・地番・地積 等が改められ、新しき【登記簿】【地図】が出来あがる!  
明治、大正、昭和、平成…そして令和! 大きく変わっていった吉原地域…  
地域の方達と共に郷土史を調べ続けて十数年! 凄まじき資料を発掘してきた!  
それらすべてが! その時々“まちづくり”の記録!  
今回は“近代吉原”を作ってきた往年の“地籍簿・地図達”を紹介!



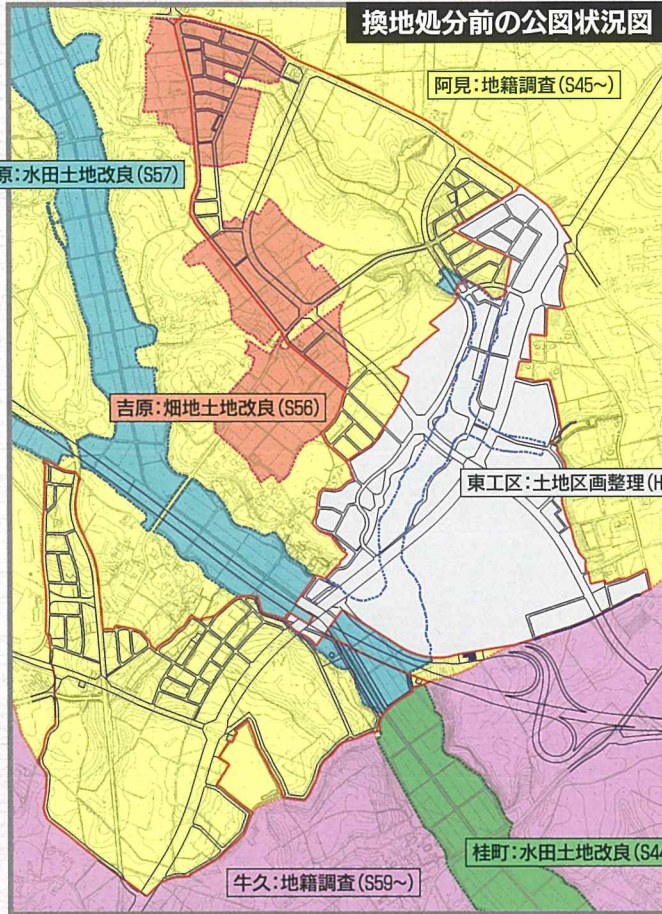
6年間の短命大区小区制の表記!  
(明治5~11年)



## 地券



権利証の前身! 古い“タンス”の中に…  
もしかして“ある”かも! (明治13年 明治9年改正)



【公図】は全て「電算化」がなされています! S=1:500

## 旧土地台帳

税務署管理課税台帳  
(明治22年以降、  
昭和40年頃まで)  
不動産管理の“一元化”  
により閉鎖



## 字限図 (和紙公図)



旧土地台帳附属地図  
(明治22年以降、  
昭和45年まで)

## 吉原村土地全図



字限図の前身(明治13年)地目別に着色!  
江戸時代の名残を感じる!



のどろす  
明治7、8年頃作られた【野取図(丈量図)】のみ  
未だ発見出来ず! 残念…何とか見付けたい!

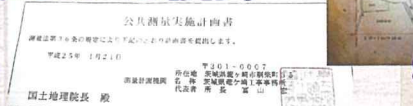
土地所在、地番早見図 地主さんの必須アイテム! (昭和50年頃)

## 土地宝典図



法務局との換地処分に伴う協議

## 測地成果2011への移行!



測地成果2011移行

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震より、日本標準時区画数値の改正が  
果敢を要する測地は「世界測地系(測地成果2011)」と表記された。  
H23.3.11:東北地方太平洋沖地震!  
“地殻変動”により座標系変更!(平成25年)

## 地籍調査公図



(明治32年以降…現在は電算化)

阿見町は県内で  
最も早く実施!  
(昭和45年)

# 阿見吉原の里 風土記 26 Archive